

野田市郷土博物館及び野田市市民会館指定管理者候補者  
選定委員会（フォローアップ）会議録概要

開催日時	令和5年2月8日（水）午前9時から午前9時30分まで
開催場所	野田市役所 4階 職員控室
出席委員	企画財政部長（委員長）、人事課長、市史編さん担当主幹、管財課長
欠席委員	企画財政部次長（副委員長）
事務局	生涯学習課、行政管理課

1 開会

<委員長から開会の言葉>

2 議事

令和4年度（4月～12月）野田市郷土博物館及び野田市市民会館業務報告書及び  
令和5年度野田市郷土博物館及び野田市市民会館業務計画書の審査について

<事務局から令和4年度（4月～12月）野田市郷土博物館及び野田市市民会館業務  
報告書及び令和5年度野田市郷土博物館及び野田市市民会館業務計画書について  
一括して説明>

<審議の概要>

○ 管理運営状況調書「総合所見」2ページの郷土博物館の所見について「臨時休館前の9月までは、昨年と比べ個人利用が回復しているが、団体利用は3団体と低水準」とある。団体利用の減少は、学校による見学数減少の影響ということか、教えてほしい。

→ 当館を訪れる小学校の団体見学については、近年では、1月から3月までの間に訪れることが多い。また、春先の団体見学は、歴史散策やウォーキングを目的とする団体が多いことから、指摘の団体利用の減少については、これらの団体が新型コロナウイルス感染症の影響で活動を控えていたことが影響しているものと考えている。

○ 以前、「キッコーマンもの知りしょうゆ館」を訪れた団体が、野田市郷土博物館に足を伸ばすと聞いたことがあるが、「キッコーマンもの知りしょうゆ館」の休館の影響はあるか。

→ 影響はあると思われる。

○ 業務報告書8ページの資料整理事業について、郷土博物館の屋根改修工事による臨時休館に伴い、資料整理等を行う時間が確保できたことから、特に進捗したような事業例があれば教えてほしい。

- 寄贈の打診を受けた資料については、速やかに整理作業に取り組み、例年と比較してスムーズに受入れを行うことができた。そのほか、今年度から開始した小学校郷土資料室整備事業に取り組むことができ、今年度は東部小学校で実施している。なお、近年の寄贈資料受入れ件数は、令和3年度8件、令和2年度4件、令和元年度8件となっている。
- 説明のあった東部小学校のほか、今後、具体的にほかの小学校でどのような取組を考えているのか。
- 各学校にはそれぞれ異なる歴史があることから、まずは歴史の古い学校から始めていくことで考えており、今後については、学校側と協議をした上で計画したい。
- 郷土資料展示室を持っている学校があると思うが、展示方法、保管方法及び修繕について助言をするということか。
- 郷土資料以展示室の活用方法について指導するほか、校内にある資料の整理及び活用方法についても指導していきたいと考えている。
- 学校の沿革誌は校長室で保存されていることが多いが、そのほか学校の歴史を記録した史料は、保存されておらず、本来残すべき歴史的な文書が処分されていることもある。校長が交代すると、古いものは廃棄される場合もある。展示室にある資料だけでなく、今学校にある史料や古文書等についても、「この資料は残した方がいい」という指導をしてもらいたい。
- 学校に指導していきたい。
- 業務報告書 28 ページの委託実施状況「市民会館庭園管理」について、業務の履行が可能な市内業者は複数あると思われるが、経費縮減のためにも可能な限り複数業者から見積書を徴し、見積り合わせを実施した上で、委託業者を選定すべきではないか。
- 庭園管理業務について、当庭園は登録文化財であり、管理に細心の注意が必要となる。対象樹木などの育成及び管理等も単年度で完結する業務ではなく、当庭園を知悉している業者に継続的に委託する必要がある。現在の委託事業者は茂木佐平治邸時代から当庭園の管理を行っており、当庭園を知悉している業者である。しかし、指摘のとおり契約金額の妥当性については、担保する必要があるため、今後その方策について検討していきたい。
- 業務報告書 35 ページの事故、要望及び苦情対応状況について、市民会館正面玄関脇のトイレの排水異常について報告があるが、点検及び改修は行っているか、玄関脇ということもあり来館者のイメージに影響があると思うが、行っていない

場合は今後の方針を教えてください。

→ 日常的な点検は毎日行っており、異常があればすぐに発見することができるようにしている。5月の業者による点検時に、配管が庭園を横断して外に抜けていることが判明し、相当な長さがあるため詰まりやすいとの指摘を受けている。配管の引き直し等の改修は予算的にも困難であるため、前庭トイレの高圧洗浄を行う際に、玄関脇トイレの配管についても高圧洗浄を行う予定である。

○ 業務報告書 68 ページの施設の利用状況報告について、郷土博物館の入場者の大半が一般入館であるが、このうちリピーターがどの程度いるのか把握しているか。

→ 郷土博物館に設置しているアンケートに来館回数についての設問があり、展示ごとの集計結果や年間の平均リピーター率を「年報・紀要」で公開している。

近年は平均して約 50 パーセントがリピーターであり、今年度事業のリピーター率は、市民コレクション展「刀百姿」が 49.4 パーセント、企画展「見て、見て、ハッケン！野田の歴史」が 55.2 パーセントである。

○ 業務計画書 10 ページの他機関への協力について、「小中学生の職場見学、体験を受け入れる体制を整えます」とあるが、職場体験の期間、受入れ人数及び実績件数を教えてください。

→ 依頼を受ける際に学校側と調整を行うが、原則期間は三日、受入れ人数は最大五人としている。実績件数については、令和 2 年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響のため、学校からの依頼はない。

○ 業務計画書 19 ページの現金の取扱いについて、4 年度に利用料金の徴収誤りが複数回発生していることを踏まえて、改善している点を教えてください。

→ 以前から新規予約受付時には二人以上で確認する体制をとっているが、予約の変更や料金徴収後にミスが生じていたため、改めて予約台帳記入時の手順を明記したマニュアルを受付に従事する職員に配布し、注意すべき事項についてお互いに確認を行っている。

○ 今後、マニュアルが正しく活用されるように指導してほしい。

→ 承知した。

○ 業務報告書 5 ページの(2)施設の利用促進(利用者増)のための方策及び 11 ページの伝統文化の伝承のための事業及び体験学習について、「松樹庵」で開催を予定していた呈茶席を、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した旨の記載がある。また、今年度についても、同様の計画があるが、茶室という「密」になりやすい環境で、どのような感染防止対策を講じた上での実施を考えているか。

→ 定員を設ける講座については定員を減らして募集を行うほか、当日受付を行う事業についても一度に「松樹庵<sup>しょうじゅあん</sup>」に入室する人数を減らして実施していく。また、アルコール消毒やマスク着用、回し飲みをしない、茶菓子を包装した状態で提供する等の対策を講じた上での実施を検討している。

<審議の結果>

令和4年度(4月～12月)野田市郷土博物館及び野田市市民会館業務報告書及び令和5年度野田市郷土博物館及び野田市市民会館業務計画書について承認

### 3 閉会